平成21年度決算

津別のまちの家計簿

一般会計は、2億8500万円を基金から取り崩しました

■地方交付税
地方公共団体間の財源不均衡是正を目的に、国税の所得税、法人税、消費税、酒税など、それぞれ一定割合の額を国から交付されるお金。

■国庫・道支出金
町で行う特定の事業に対して、国または道から交付される負担金、委託金、補助金。

■町税
町民税や固定資産税、軽自動車税、特別土地保有税、たばこ税、入湯税など。

■町債
町が事業を行うために借りたお金のほか、地方交付税減による財源不足を補うため措置された臨時財政対策債が含まれる。

■繰入金
目的の事業を行うための財源及び財源不足を補う目的で、町の貯金である基金を取り崩して一般会計に入れたお金。

皆さんが納める税金や国・道からの交付金などは、私たちの生活をより良くするためにさまざまな形で使われています。これらが、町の行政サービスとしてどのように使われたのか、一般会計を中心に平成21年度決算の執行状況についてお知らせします。

一般会計・歳入

平成21年度の歳入決算額は、61億7827万円となり、前年比28・4％の大幅な増となりました。これは国・道支出金の強い農業づくり事業や定額給付金事業に伴うものです。

歳入の内訳（グラフ1参照）を見ると、国から交付される地方交付税が最も大きな財源になっており、21年度決算では28億3965万円で歳入全体の46・0％を占めています。これに国・道支出金（25・9％）や地方譲与税などの交付金、交付税減による財源不足を補うために措置された臨時財政対策債を含む町債を合わせた依存財源は81・2％になります。

残りの18・8％は、皆さんが納付する町税などの自主財源です。町税の総額は5億3920万円で、一人当たり9万3207円の納付額になります。一般会計の決算では、基金から2億8500万円を取り崩し、歳入の不足分を補いました。

一般会計・歳出

歳出の最終決算額は、61億275万円で対前年比28・0％の増となりました。（科目別決算額はグラフ2参照）

公債費は、事業を行なったときに借りたお金の償還額です。歳出の15・7％を占めていて、償還額のピークを過ぎましたが公債費の負担が大きい状況は続くため、新規の発行抑制に努めました。

総務費は、町営バス運行・維持管理経費などが減となり、町有建物等営繕事業や定額給付金事業などが増となっています。

民生費は、障がい者自立支援事業経費や子育て応援特別手当給付事業が含まれています。

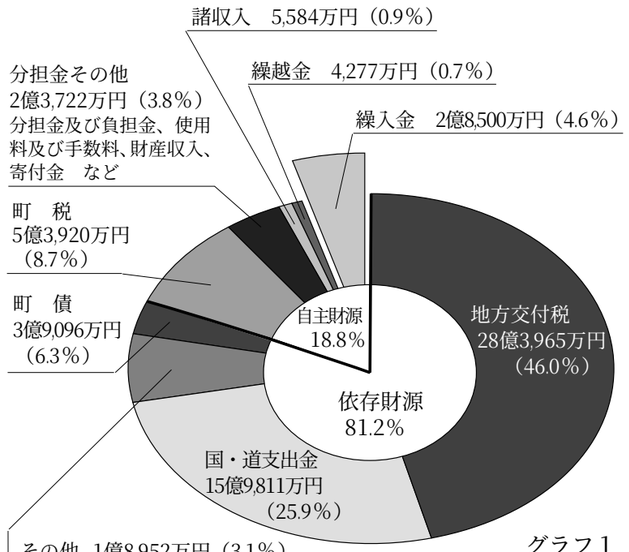
農林業費は、強い農業づくり事業や地域バイオマス利活用事業などが増となっています。

教育費は、ファミリースキー場管理経費や少年期振興経費が含まれ、生活改善センター施設整備事業などが増となっています。

歳入（一般会計）

総額　61億7,827万円

町民一人あたりの町税の納付額　93,207円
（平成22年３月31日現在　人口5,785人）

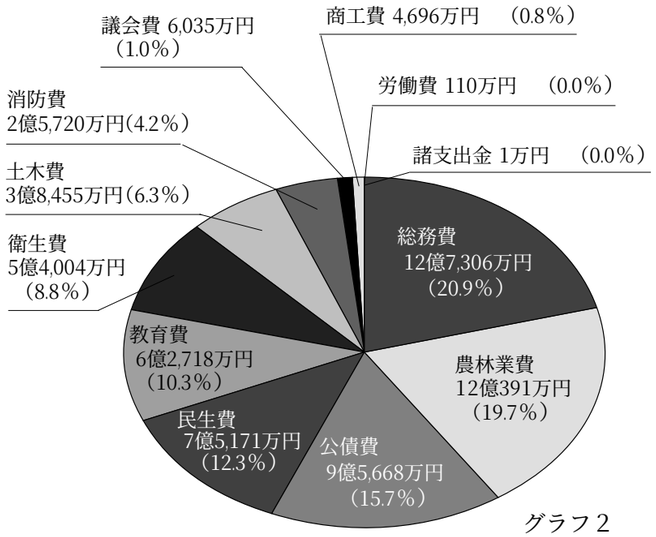


グラフ１

歳　出（一般会計）

総額　61億275万円

町民一人あたりの経費　1,054,927円
（平成22年３月31日現在　人口5,785人）



グラフ２

■総務費
定額給付金事業や町有建物等営繕事業などの増により前年対比28.1％の増。

■農林業費
農業費は、強い農業づくり事業などの増により前年対比730.5％の増となり、林業費は、林業構造改善事業などの増により前年対比124.5％の増。

■公債費
一部事業債の償還完了により前年対比5.7％の減。

■民生費
前年対比4.1％の増。

■教育費
小・中学校、中央公民館、生活改善センター施設整備事業などの増により前年対比25.6％の増。

■衛生費
下水道事業特別会計繰出金や一般廃棄物最終処分場管理経費などの増により前年対比7.3％の増。

■土木費
町道整備事業や雪寒建設機械導入事業などの増により前年対比14.3％の増。

■消防費
事務組合負担費の減により前年対比14.4％の減。

■商工費
前年対比の14.4％の減。

表1　特別会計決算額

	会　計	歳　入	歳　出
特別会計	国民健康保険事業	9億3,345万円	9億2,644万円
	老人保健事業	292万円	292万円
	後期高齢者医療事業	7,234万円	7,194万円
	介護保険事業	4億1,637万円	4億1,616万円
	介護サービス事業	3億　887万円	3億　51万円
	下水道事業	6億6,587万円	6億6,352万円
	簡易水道事業	6,104万円	6,072万円

特別・企業会計

このほか特別会計として、国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・介護サービス事業・下水道事業・簡易水道事業の６事業会計と企業会計である上水道事業会計があり、それぞれ私たちの生活と密接に関わっています。（表1・2参照）

各会計とも健全財政に努めていますが、一般会計から不足分を補うため、上水道事業を除く７事業会計に、４億７２０３万円が繰り出されています。

表２　企業会計決算額

	会　計	収益的収支	
企業会計		収　入	支　出
	上水道事業	1億3,764万円	1億2,365万円
		資本的収支	
		収　入	支　出
		1,506万円	1億　283万円

一般会計性質別内訳

表３　単位：万円

	21年度決算額	20年度決算額	増減率
人　件　費	10億4,442万円	10億6,044万円	△1.5％
物　件　費	6億7,789万円	6億6,482万円	2.0％
維持補修費	6,759万円	5,742万円	17.7％
扶　助　費	2億2,861万円	2億1,914万円	4.3％
補　助　費	6億1,774万円	5億6,590万円	9.2％
公　債　費	9億5,668万円	10億1,458万円	△5.7％
積　立　金	3億9,478万円	3億4,365万円	14.9％
投資出資金	ー	80万円	皆 減
貸　付　金	300万円	300万円	0.0％
繰　出　金	6億2,210万円	5億1,199万円	21.5％
投資的経費	14億8,994万円	3億2,682万円	355.9％
合　計	61億　275万円	47億6,856万円	28.0％